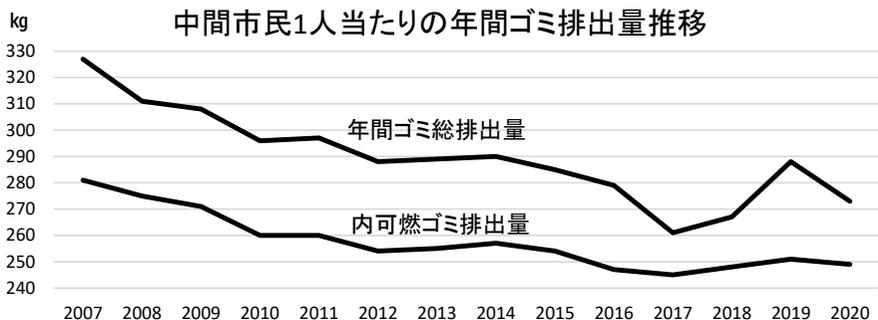


前回やっチャレエコライフ2019取組み結果

- ・市民、事業所、小中高生と家族のみなさんなど合計8,826人参加。
- ・二酸化炭素約1,068kg（過去最高）の排出を防ぐことができました。
- ・中間市全世帯約2万5千世帯がTVを約97分間消して防いだ排出量に相当。
- ・リッター15kmの燃費の自動車1台が約6,970km走行しないで防いだ排出量に相当。

やっチャレエコライフ2019集計結果表

| 参加者名 | 参加数(人) | | 防いだ排出量(g) | 参加率(%) |
|---------------------|--------|-------|-----------|--------|
| | 本人 | 家族 | | |
| 小学1～3年生 | 460 | 823 | 34,199 | 51.2 |
| 小学4～6年生 | 504 | 876 | 45,241 | 49.8 |
| 小計 | 964 | 1,699 | 79,440 | 50.4 |
| 中学生 | 692 | 421 | 157,027 | 75.1 |
| 高校生 | 1,200 | 458 | 232,777 | 82.2 |
| 小中高小計 | 2,856 | 2,578 | 469,244 | 66.5 |
| 小中高学校職員 | 144 | 113 | 40,659 | 41.5 |
| 市職員 | 334 | 315 | 112,485 | |
| 商工会議所 | 9 | 15 | 2,314 | |
| 遠賀川河川事務所 中間出張所 | 7 | 3 | 2,053 | |
| 宗像・遠賀福祉保健 環境事務所 | 12 | 11 | 3,533 | |
| 地球温暖化防止活動 推進センター | 28 | 33 | 10,456 | |
| リサイクル総研 | 3 | 2 | 988 | |
| リサイクルブラザ | 20 | 20 | 6,438 | |
| 各企業・事業所 | 517 | 386 | 140,388 | |
| 市内各団体 | 59 | 46 | 24,069 | |
| 45自治会 | 748 | 494 | 244,464 | |
| 団体・自治会不明 | 28 | 28 | 9,713 | |
| 他 | 5 | 12 | 1,906 | |
| 小計 | 1,914 | 1,478 | 599,466 | |
| 合計 | 4,770 | 4,056 | 1,068,710 | |
| 総計 | 8,826 | | | |



| 年度 | 総排出量 (kg) | 内可燃ゴミ排出量(kg) |
|------|-----------|--------------|
| 2007 | 327 | 281 |
| 2008 | 311 | 275 |
| 2009 | 308 | 271 |
| 2010 | 296 | 260 |
| 2011 | 297 | 260 |
| 2012 | 288 | 254 |
| 2013 | 285 | 254 |
| 2014 | 279 | 247 |
| 2015 | 261 | 245 |
| 2016 | 267 | 248 |
| 2017 | 288 | 251 |
| 2018 | 273 | 249 |
| 2019 | | |
| 2020 | | |

初めて参加した小学1年生の意見

- ・ごはんをのこすとごみがふえてもやすときに、にさんかたんそがふえる。
- ・ごはんやおかずをのこさずたべた。 ・おみずのつかいすぎにちゅういする。
- ・だらだらテレビをみるのをやめようとおもいました。 ・みんなでひとつのへやにいた。
- ・いつもいらないでんきをけしたりしています。これからもつづけようとおもいます。
- ・ごみのぶんべつをしました。ごはんをのこさずたべました。 ・ちきゅうをまもる
- ・いつもいらないでんきをけしたりしています。これからもつづけようとおもいます。

小学1年生の家族の意見

- ・ペットボトルの捨て方（ラベルをはがし、中を水でゆすぐ）もきちんと身に付いています。テレビやゲームの時間がもう少し減るように頑張ってほしいです。
- ・遠くにしか出掛けなかったが、車を使わず、出掛けるのもやってみたくと話した。これからもエコライフを続けていきたい。ゴミはなるべく分別し、無駄なものは買わないようにしています。
- ・いつもはテレビがつきっぱなしになっている事が多いですが今日は娘と話し、テレビをつけずにすごしました。ごはんを残さず食べることがエコにもつながるとい事なので頑張って食べようねと約束をしました。
- ・これを機にテレビゲーム等の時間の見直しを考えるとともに、ご飯の量についても考える必要があると思った。
- ・電気を消したり、のこさず食べたり、身近にやっていたいけることを子どもと一緒にもっと、とりくみたいと思います。
- ・近所のスーパーへ行く時は、なるべく歩いて行って、家からエコバックを持って行くようにしようねと家族で話をしました。

参加者・協力団体

市民のみなさん、中間市内全小学校（6校）、全中学校（4校）、北九州高等学園、希望が丘高校、中間高校、北九州市立大学国際環境工学部二渡研究室、国交省遠賀川河川事務所中間出張所、福岡県リサイクル総合研究事業化センター、福岡県宗像・遠賀福祉保健環境事務所、福岡県地球温暖化防止活動推進センター、中間市役所、中間市社会福祉協議会、中間・遠賀リサイクルブラザ、底井野郵便局、イオンなかま、安川電機、筑豊電気鉄道、東罐マテリアル、深江工作所、グリーンブラザ、豊田パン、藤津薬局、福岡銀行中間支店、中間市自治会連合会、中間ライオンズクラブ、中間市婦人会、中間市シルバー人材センター、中間市ボランティア連絡協議会、中間市子育て支援キューピー、中間ほたる・メダカの会、中間市食生活改善推進会、中間市文化団体連合会、混声合唱団もみの木、女性合唱団ドレミ、千寿中間、デイサービスセンター 桃のはな、他（順不動）

主催：中間市民環境会議 なかまの環境を良くする会

後援：中間市・中間市教育委員会 協賛：福岡県地球温暖化防止活動推進センター

問い合わせ先：なかまの環境を良くする会事務局（中間市 環境保全課）093-246-6265

